

花沢橋

会えなくなってもいいと 思わず嘘をついた
変わらないよと思ったのに 茜雲だけが流れる
とても長い車両の電車の窓明りが
夕闇の中をつらぬいて行ってしまった

戻らない日々 日々
君は想像通りの今を生きてるかな
帰らない日々 日々
僕らまた会えるかな

その目には、その目には
限りない未来があって
少年はいつでも蝉時雨と
木漏れ日の中にいた あの頃

あの場所でまた会おうよ
ホテルも見に行こうよ
二人で会えた最後の日 覚えてるかい

戻らない日々 日々
君が想像してたよりも背が伸びたな
帰らない日々 日々
僕は変われるのかな

喜びも悲しみも
この街が覚えていて
どうしたって忘れられないくらい
さらさらと溢れてる
でも離れてしまうけど
壊れてしまうものじゃない
いつだって会おうよ 会いにだってゆくよ
オレンジの電車で

僕たちは待ち合わせもさよならも
いつもこの橋だった

その目には
限りない未来があって
少年は 今また蝉時雨と
木漏れ日の中で思う
たとえ離れてしまっても
壊れてしまうものじゃないさ
いつだって会おうよ 会いにだってゆくよ
オレンジの電車で
この空が繋ぐ限り

